

今月の便り

ヒメジョオンとハルジオン

ヒメジョオンは漢字で「姫女苑」と書きます。小さくてかわいらしい様子を表す「姫」と、中国語で野草を意味する「女苑」が合わさって付けられた名前です。開花時期は6月～10月で長く花が楽しめるのが特徴です。ヒメジョオンとよく似た、ハルジオンという植物があります。名前も似ていますが見た目も似ています。しかし、名前を漢字で書くと、ヒメジョオンは「姫（かわいらしい）」「女苑（野草）」、ハルジオンは「春（春に咲く）」「紫苑（キク科の植物）」という意味を表しています。どちらも北アメリカ原産の帰化植物です。ヒメジョオンの開花時期は6月～10月の、初夏から秋にかけてです。しかし、ハルジオンは名前のおり5月～7月の春が開花時期になっています。ヒメジョオンとハルジオンはよく似ていますが、よく見るとヒメジョオンの花は、花びらが大きめで、花びらと花びらの間が少



し空いています。ハルジオンの花は、細い糸のような形をしていて、びっしりと花びらが付いているのが特徴です。見分け方で有名なのは、茎を折り、茎の中身を確認することです。茎の中身が空洞なのがハルジオン、茎に中身が詰まっているのがヒメジョオンと見分けることができます。（いとう）

春の寄せ植え

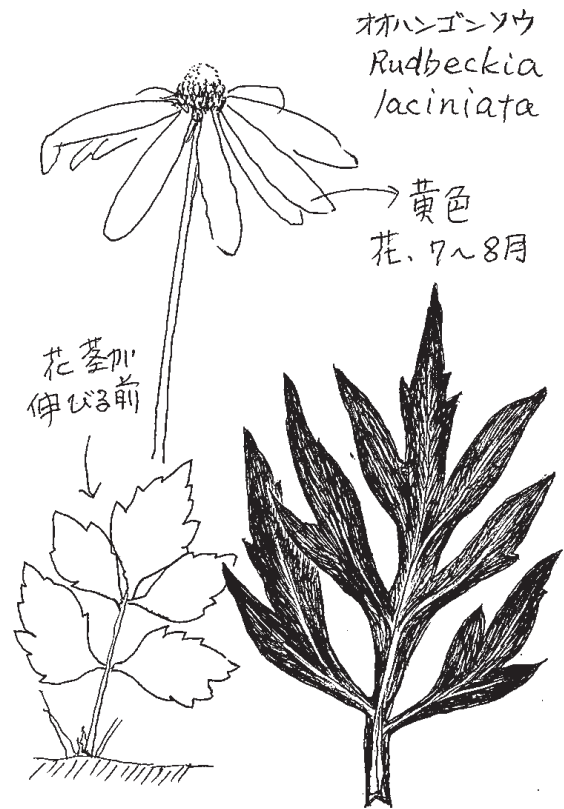
気温が下がり始め、来春用の寄せ植えを作ることができる季節になりました。パンジーとビオラと球根類、チューリップ、ムスカリなどで、春の寄せ植えを作りましょう。今月は、市民園芸講座で基本の栽培をおさらいしていきながら寄せ植えを作ります。10月下旬から11月上旬に向けて、最低気温が20℃を下回ったらポット苗を購入し鉢植えで管理します。冬の間も雪の中で休眠させる寄せ植えです。植え付けの際、伸びている花や蕾は下から3節目くらい残して株を整えます。茎の先端の芽が摘まれることで、脇芽が増えて、その後の花数が増えます。楽しみは少し先延ばし急がば回れの精神です。寒くなる前にしっかり花苗の根張りを良くする為には、鉢植え用の土が大切で、草花用の培養土に、赤玉小粒を2割ほど混ぜるのがお勧めです。小

球根類の植え込みも種類によって植え込む深さも変わり、ビオラなどの苗ものとの組み合わせも勉強しましょう。11月から寒さが本格化するまでに植物の根をしっかりと張らせる事が重要です。(たかはし)

夏に花咲く帰化植物

夏に花咲く帰化植物には繁殖力の強い種類が多いように思います。岩見沢ではここ数年 JR 沿線や道路脇でオオハンゴンソウがひまわり型の黄色い花を咲かせ、レースの様な花を咲かすノラニンジンが風に揺れています。その他にもオオアワダチソウ、針が危険なアメリカオニアザミ、国道脇にはサワサワ揺れるシナガワハギなど。これらは全て北海道ブルーリストという北海道庁が出している注意すべき帰化植物に載っている植物です。大量に種子を飛ばし、一度根付いたら根絶やしにする以外駆除方法はありません。特にオオハンゴンソウは環境省の特定外来生物に指定され、増えない様に移動や栽培に關しての規定があります。種子の発芽を抑制する物質を根から出すので、周りの生態系を大きく変えてしまう可能性もあるからです。イネ科の植物と違ってどの植物も目立つ花をつけるので可愛いと思ってしまうかもしれませんが、住宅地など自分の生活圏で見つけた時はできる限り適切に駆除した方が良いでしょう。

(きのした)



お知らせ

9月20日(土)～10月5日(日)まで、バラ園ではローズフェスタ秋2025を開催しています。本州よりも一足早く秋のバラを楽しむことができます。土日にはバラ園スタッフによるローズツアーや手作り雑貨のお店、岩見沢市内のパン屋さんのパンが集まるパン祭りなど、イベント盛りだくさん。また、バラ園内にある室内公園色彩館ではキンモクセイの花が甘い香りを漂わせています。館内では飲み物も提供しています。甘い香りに包まれながら、のんびり秋の散策はいかがでしょう。イベントの詳細はホームページやSNSでご確認ください。皆様のご来園をお待ちしております。

ひとつき ひとバラ



文：堀内琴水
(いわみざわ公園バラ園)



第百二十九回

フロリバンダ

コティヨン

Cotillion

作出国：アメリカ

作出者：Zary

作出年：1999 年

ハーディネスゾーン：Z6

四季咲き

交雑：(Sweet Chariot × Herbie) ×

Shocking Blue

今年の夏は 30℃を超える日が続き北海道と思えない暑さに人もバラもぐったりしています。年々ひどくなってゆく暑さに「北海道で 40℃を超える未来も近いのでは!？」と怯えて過ごしています。日陰が涼しいことと冷たい風が吹くことが救いになっています。今回は「コティヨン」について紹介いたします。別名パフュームパーフェクションとも呼ばれているこのバラは丸弁のカップ咲き、見た目はアンティーク調に波打ったフリフリな花弁が愛らしく、色はソフトなラベンダーピンクです。花付きと花持ちが良く、開きかけの状態の時は花弁の巻きの形がきれいに整っていて、中心に行くほど色が濃くなり凛々しい印象に、開ききった後は丸弁の柔らかさがより感じられ、黄色い蕊とのコントラストも映える柔らかな印象に変わります。別名にもある通り強香が特徴としてあげられがちですが、作業中などに香りを感じたことはありません。本来はレモンのような甘い香りがするそうです。樹形は半直立性で、花径は 6～8cm の中輪、樹高は約 140cm です。分枝が多いですがまとまりよく育ちます。地植えだけでなく鉢植えでも育てることができ

ます。耐病性が特別強いわけではないですが、それが花付きに影響することはないです。当園も株の半分ほどしか葉がついておりませんが、花はきれいに咲いていました。とげも少ないため、比較的育てやすい品種ではないかと思います。系統はフロリバンダですが枝が細いのが特徴の品種なため、当園では通常の花径を切る太さ(5.5 mm)よりも細めで剪定しています。コティヨンという名前は、18 世紀から 19 世紀にかけてフランスを中心に流行した社交ダンスが由来のようです。交配親はショッキングブルーと名前のついていない実生で、父親であるショッキングブルーは強いダマスクの香りを持つ、やや赤みの強い紫色の芳香種です。とても花付きが良く、地植えにも鉢植えにも適しています。バラは本来母親に似ることが多いようですが、コティヨンは父親似のようです。母親である実生の交配親の系統がどちらもミニチュアであることから細い枝でも花を付けるのではないかと想定しております。コティヨンは、当園の整形式にある青バラを集めた 6 番花壇にございます。興味を持たれた方は是非遊びにいらしてください。

今月の市民園芸講座のご案内



- 9月7日(日) 13:00～15:00 飾って楽しい植物画
～バラ園の樹や植物を描こう～

材料費:200円 定員:10名 講師:木下 京子 さん

- 9月15日(月祝) 13:00～15:00 楽しいキノコの見分け方

参加費:無料 定員:40名 講師:伊藤 幸秀 さん

- 9月20日(土) 10:00～12:00 ばらゼミ⑦

参加費:無料 定員:40名 講師:古舘 杏奈 さん

- 9月21日(日) 9月28日(日) 13:00～15:00

バラ園管理スタッフのローズツアー・秋

参加費:無料 定員:40名 講師:バラ園スタッフ

- 9月27日(土) 13:00～15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント

材料費:2,000円 定員:20名 講師:大和田 由紀子 さん

※お申し込みは講座開催月の1日9:00～電話で受付しております。

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<https://iwamizawa-park.com/>

※資料で用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3～4日位前までに
お申込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。